



3Dフォトを使ったストラップ



社屋入口



検査作業



マシニングセンター①



マシニングセンター②



職人技による微調整

株式会社 かどや

企業DATA

住 所 海老名市中新田 3-7-24
社員数 12名
設 立 2007年
w e b <http://www.ka-do-ya.jp/index.html>
連絡先 info@ka-do-ya.jp

企業ビジョン

「新しい製品の開拓の場」最先端の最先端を提供”

製品の開発には試作なくては成り立ちません。株式会社かどや(以下かどや)は試作品製造を主な事業とし、設計から試作、そして量産までの一貫したサービスを提供する会社です。我々が普段使用している様々な製品はいきなり完成品を作り出すわけではありません。様々な修正を経て出来上がるものなのです。

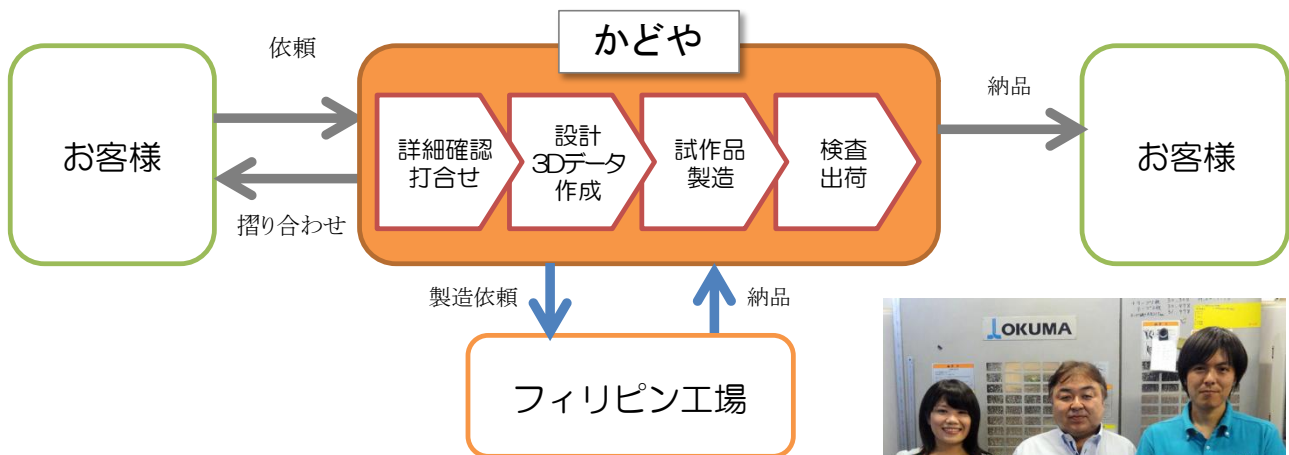
様々な試行錯誤を繰り返し、「これで行ける」というものをお客様であるメーカーに提供しています。試作品を製造することは世に出る製品の前段階の製造を行っているため、最先端の最先端を扱っているといえるのです。また、お客様に試作を提供するとともに、製品改良のアドバイス等も一緒に行っています。優れた試作品を提供することのできる企業が当社”かどや”なのです。

経営者プロフィール

「日々前進」～立ち止まらないこと～

波多野康広社長は、人との関わり、新しい刺激をととても大切にしています。何か悩みがあっても止まらずに歩いてみることで、今まで見えなかった景色が見え、新しい刺激を受けることが出来る、とお話されていました。その言葉を体現するように、従業員の方々とレクリエーションなどを通じコミュニケーションを積極的に取り、常に止まらずに前に動き続けているそうです。

ビジネスモデル図



社員の活躍フィールド

・遠藤工場長

最初は何もわからないうえに人数が少ないため幅広く仕事を任せられますが、短い期間で経験の蓄積を実感できます。そんな環境に身を置くことで、オールマイティな活躍が可能になり、質が良い製品を完成させ、お客様とのつながりと信頼から仕事が楽しく感じ、より仕事に打ち込むことが可能になります。社内の雰囲気良く、気軽に相談できるため従業員にとっても働きやすいです。

・島袋さん

マシンニングセンターの稼働にはプログラミングの知識が必要となります。最初は大変ですが、社員は勉強を重ね頑張っています。人数が少ないので一人一人が受け持つ仕事は多く、とてもやりがいのある仕事です。製品が早く綺麗に出来ると気持ちがいいし達成感があります。

学生へのメッセージ

・波多野社長

学生時代には、お客様との関わりの多いサービス業のアルバイトを沢山することをお勧めします。人と関わることで新しいことを発見することは、とても大きなものです。色々な刺激を受けるためにも旅をするのもよいと思います。また、元気に物事に取り組むためにもスポーツ系の部活動に入ることをお勧めします。上下関係を学ぶことや、人に何かを教えることが将来役立つでしょう。

学生による取材メモ

一人一人の意欲がとても高く、自身の業務に自信を持って行っている姿が印象に残りました。紙面の関係で紹介できませんでしたが、イラストなどをプラスチックに転写し、立体に見ることのできる3Dフォトの特許を取得しており、その新たな技術力の高さに無限の可能性を感じ驚愕しました。

編集者 神奈川大学経営学部 藤井大地／堀内舞人／西村優希